

3月15日ストライキを含む

全国いっせい行動に ご理解・ご協力！

全国福祉保育労働組合大阪地方本部

戦争するための憲法改正反対・福祉職員の大幅増員、処遇改善を求めて全国の仲間とともに行動に立ちあがりました。

私たち全国福祉保育労働組合（福祉保育労）に加盟する組合員は、安倍政権の戦争するための憲法改正に反対し、福祉拡充のための福祉職員的大幅な増員と労働条件改善を政府・自治体に迫るストライキ行動も含む全国いっせい行動に、本日（3月15日）全国の仲間とともに立ちあがりました。

戦争するための憲法改正には反対です

安倍政権は戦争するために憲法9条の改正を柱とした憲法改正に乗り出しています。集団的自衛権の行使を含んだ安全保障関連法の成立によって憲法違反の海外での武力行使が可能になった今、自衛隊を憲法に書き込むことによって海外での武力行使が合憲化され、制限なしにいつでも、どこでもアメリカをはじめとした同盟国と一緒に軍事行動ができるようになります。

保育士・介護職員など福祉職員の確保が急務

福祉現場は、募集しても応募が無といった深刻な人材難の状況にあります。政府もこの間処遇改善策を講じてきましたが、他産業との賃金格差は埋まってはいません。その要因はそもそも低い運営費と実態

にあわなない少ない職員配置にあります。

戦争する国づくりやめて福祉職員の大幅増員と処遇改善を

私たちは、安倍政権による戦争するための憲法改正をくい止め、憲法を活かした平和で、誰もが安心して暮らせる福祉豊かな社会の実現をめざして職員の増員・賃金引き上げなど福祉職員の抜本的な処遇改善の実施を求めて全国の仲間とたちあがりました。是非、皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

私たちの主な要求

- 大幅人員増で休憩が確保できる職場の実現を
- 大幅賃上げで他産業との月額 10 万円の賃金格差の解消を
- 非常勤職員の時給 1500 円以上への引き上げの実現を
- 憲法改悪阻止、平和と人権が尊重される社会の実現を

